

評価基準における津波高変更に伴う表記の変更箇所

評価基準	箇所	変更前	変更後
2	(2) 本評価基準で用いる設計水位等 レベル1 津波高	T. P. +5. 89m	T. P. +4. 60m
2	(2) 本評価基準で用いる設計水位等 レベル2 津波高	T. P. +12. 14m	T. P. +11. 70m
17	表 3-3-6 レベル1 津波高	T. P. +5. 89m	T. P. +4. 60m
17	表 3-3-6 レベル2 津波高	T. P. +12. 14m	T. P. +11. 70m
24	表 4-1-1 レベル1 津波時 (寄波)	T. P. +5. 89m	T. P. +4. 60m
25	表 4-1-2 津波荷重	L1 津波高時 176. 2kN/m、L2 津波高時 674. 2kN/m とする。	L1 津波高時 217. 7kN/m、L2 津波高時 674. 2kN/m とする。
26	表 4-1-3 レベル1 津波高	T. P. +5. 89m	T. P. +4. 6m ※ 4 箇所修正
32	表 4-2-2	ダム堰基準 M「6-3 構造設計」手法により、「修正谷本式」を用いる。 レベル2 津波高は、右岸周辺の中田島砂丘付近における T. P. +14. 9m を用いる。	4. 1 (3) 表 4-1-2 のとおり。
32	表 4-2-3 レベル2 津波高	T. P. +12. 14m	T. P. +11. 70m